

【 令和 6 年度 中学校道徳授業地区公開講座 授業概要 】

7年1, 2組 指導者 田窪 翔 / 對馬 北斗

題名(資料名)	社会の中の思いやり(バスと赤ちゃん)
ねらい	多くの人々の善意により社会生活が成り立っていることに感謝し、人間愛の精神をもって思いやりの心を能動的に示そうとする態度を育てる
授業のポイント	<p>【教材について】</p> <p>混雑したバス内で突然泣き出した赤ちゃん、気を遣いすぐに降りようとする母親。理由を聞いた運転手さんの機転を利かせたアナウンス、最初の乗客の拍手、そして乗客全員の拍手。バス内が思いやりと温かい心であふれ返り、筆者「私」にとって、今でも目頭が熱くなりジーンとくる、とても大切な心にしみる思い出となった。また読む人の心にもじんわりとぬくもりを与えてくれる。だからこそ、「感動した」という話で終わることなく、この感動の心は何に起因しているのか、自分の生き方にどう関わるのかということ共感的に深く考えさせたい教材です。</p> <p>【授業のポイント】</p> <p>日頃利用している交通機関での出来事を例に、模造紙を使ってグループ活動を中心に、考えさせたい。</p>
生徒が日頃利用する交通機関だからこそ、考えさせたいテーマだと思います。他者の気持ちを考え想像する活動を中心に進めていきたいと思っています。	

8年1, 2組 指導者 / 江原 実穂 ・ 熊谷 桃子

題名(資料名)	さりげない優しさ(名乗り出なかった友)
ねらい	相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を養う。
授業のポイント	<p>【教材について】</p> <p>夏休みの部活動の帰り道にお年寄りの女性に話しかけている友達を見かけながらも通り過ぎた「僕」は、その後の全校集会の校長先生の話聞き、友達が女性の困りごとを解決するために行動したことを知る。</p> <p>【授業のポイント】</p> <p>当初は行動しなかった自分に言い訳をしていた「僕」が、「よし、今度は僕の番だ。」とつばやくにいたった気持ちの変化について考えた上で、自分がその場にいたら女性に対してどのように行動するか具体的に考えることで、行動につながる態度を育てたい。</p>
<p>① 事前に実施したアンケート結果を授業の冒頭で共有し、思いやりのある行動をとることについて考える時間を設けることで、学習内容に興味をもたせたいと思います。</p> <p>② 自分がその場に居合わせたらどのように女性の問題を解決させるか班で考えさせることで、相手の立場や気持ちを尊重して行動することについて考えを深めさせたいと思います。</p>	

題名(資料名)	相手の気持ちを考える(言葉の向こうに)
ねらい	それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。
授業のポイント	<p>【教材について】 「私」はインターネット上で、あるサッカー選手のファン仲間との交流を楽しんでいる。ある時、心ない書き込みに怒った「私」は、自分もひどい言葉で応酬し、注意されてしまう。この一件を通して「私」が気づいたことを考え、生徒自身の生活の中で相手の気持ちを考えた言動を考えることができるか。</p> <p>【授業のポイント】 生徒にとって身近な SNS 等でのやり取りにおけるトラブルについてアンケートを実施し、資料の内容をイメージしやすいようにする。また、インターネット上の書き込みについて、自分だけでなく複数の視点で考えることの大切さに気づかせたい。</p>
<p>身近なテーマであるからこそ、普段の自分の言動にも目を向けて考える機会としていきたいと考えています。この題材をもとに、自分も、相手も、周りも気持ちよく過ごせるコミュニケーションについても考えていきたいと思います。</p>	